

学校関係者評価公表シート（令和4年度）

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

令和5年3月28日

○ 学校関係者評価委員会の意見

令和4年度評価委員会を令和4年3月28日に開催した。

本年度の本園の取り組みについて

（1）本年度の教育目標・重点課題・具体的な取り組み

- ・ 本園のよき伝統(和太鼓・ハイレベルな生活発表会等)が守られ、新しい息吹(英語指導・チアリーディング等)の感じられる幼児教育が行われている。しかし、今年度もコロナウイルス感染症のまん延防止等により、分散(登園・運動会・作品展・生活発表会等)発表会となり、生活発表会はCDにおいてしか子どもの活躍の場がみられなかった昨年度より保護者としては嬉しかった。いろいろご配慮いただいた先生方のご苦労がわかった。子どもたちの成長がはっきり見て取れた一年であった。
- ・ 心穏やかなやさしい純粋な子どもが育っている。
- ・ 子どもの持てる力の開発に余念のない取り組みがわかる。
- ・ 幼稚園の子ども主体の教育は日々の取り組みでよくわかる。
- ・ 保育修了式は色々な工夫がなされていて感動的だった。

△ 体力は低いようであるが、楽しく元気に園庭で遊ぶ園児の姿が見られるのは、保育の成果といえる。

- ・ 園児、保護者が一番期待していた生活発表会がコロナ感染予防のため、入園式、卒園式ともに規模縮小において実施された。大阪府・市全域同様の措置とは思われるが子どもたちが一番かわいそうである。

しかし、感染者が広がり、感染者がでることを思えば最良の策と考えねばならない。

(評価 B)

（2）放課後自由あそびについて

- ・ このような時期においてもたくさん子ども達が放課後園庭で楽しく遊んでいる。当初の一定の成果は得られている。曜日の設定も工夫されているのがよくわかる。
- ・ 子どもの遊びの姿を目の当たりにできてよいことだと思う。

△ 安全の確保に万全を期すことが一番である。

△ 保護者の参観者は多いが、手伝いはほとんどなくPTA役員・有志だけである。

(評価 B)

（3）食に関する指導(弁当給食)について

- ・ 月1回手作り家庭弁当は、保護者の負担が減るとともに、子どもからの「ありがとう」の声が聞かれるようになり、作り手としては嬉しかった。それにしても自園給食はありがたい。家庭では食べないメニューが準備され、保護者としてはありがたい。

△ 長期休業中の預かり保育での給食はこのままでよい。保護者は給食を歓迎し感謝し

ている。
(評 価 A)

(4) 英語教育について

- ・ 内向的であった子どもが、回を重ねるにつれて、積極的に話すようになってきた。
- ・ 英語の時間を楽しみにしている子どもが育っているように思える。PTA主催のバザーとハロウィーンパーティーでも学んだ英語を使えていて驚きであった。

(評 価 A)

(5) 作品展

- ・ 会場の多目的ホールには、「手遊び歌」を統一テーマにした造形作品が並んでいた。どの人形も個性的でかわいかった。先生方の力添えも分かり嬉しくなった。
- ・ 描画作品も一年間の子どもの歩みが分かり、年々成長しているところがわかった。

(評 価 A)

○ 評価委員会のまとめ

- ・ 園の長期にわたる伝統的な教育活動と新しい風を取り入れ、きめ細やかな教育活動が行われている。
次代を担う子どもの基礎・基本づくりに期待している。
- ・ 保育修了式(卒園式)は、来賓ご辞退等、規模縮小で行われたが、いつものように心温まる式を挙行していただき、PTA・保護者は喜んでいる。
- ・ 夕涼み保育はPTA役員・有志のご協力により楽しい思い出作りができたと思う。

先行き不透明な感染症であるが、4月の入園式は平常に行っていただきたいと願っている。